



林業直結、 ぬくもりのある家

玄関を一步入ると無垢材特有のやすらぎのある香りに包まれる。

ホールを通り抜けリビングに入るとそこには家族のこだわりの空間が広がります。この家を計画する時にいちばん最初に選んだもの、それは施主様自らが工房で選んだ一枚物のカウンターテーブルと2本の磨き丸太の大黒柱です。このカウンターテーブルの良さが最大限に引き出されるように、家族が集まりやすいLDKのど真ん中に計画しました。紀州杉の美しい木目とやわらかい質感そして自然の湾曲を活かしたデザインが特徴的です。



スパートベ어링された、2本の磨き丸太の大黒柱も自然木の表情が映し出され、カウンターと絡み合う部分には正に大工職人の魂が注ぎ込まれています。

構造材や造作材にとどまらず、室内のドアや家電収納などの家具にも至るところに紀州材を使用することで、室内全体の統一感を演出しており、様々な部分において紀州材の経年変化を楽しんでもらえます。家具等の繊細な部分の計画には何度も打合せを行い、より快適に使って頂けるように施主様と共に考えました。

家族の笑顔が弾ける、だんらんが楽しめる、思わず集まりたくなる、ぬくもりのある空間を創造する。そんな魅力が紀州材にはあると思える家が完成しました。

【 ホームページ掲載用ポスターデータ 】

※ここに掲載されている全ての内容の無断転載、画像や文章等の無断複製・印刷・転用を禁じます。